

# 祖堂集序

泉州招慶寺主浄修禪師文僊述

夫れ諸聖興り来たり、曲げて迷子を收む。最上根器は密旨を鋒釘の未だ兆さざるの前に悟り、中下品流は玄枢を機句の己に施されたるの後に省す。根には利鈍有るも、法には浅深無し。矧んや聖人は生を利すると雖も而も生には匪ず、聖人は化を興すと雖も而も寧くんぞ化せん。苟も或いは能所の斯に在らば、焉くんぞ利済の方と爲さん。然れども半偈一言を遺すは、蓋し己むを得ざるのみ。言教甚しく寰海に布き、條貫未だ師承に位せず、常に慮る、水涸の生じ易く、烏馬の弁じ難きことを。今則ち招慶に静筠の二禪徳有り、袖出の近編、古今諸方の法要、集めて一卷と爲し、之を祖堂集と目づけたり。謂いつ可し、珠玉聯環し、卷舒浩瀚たりと。既に奉じて味うことを得て、但だ神の清むことを覚ゆ。仍つて余に命じて序を爲らしむるに、堅く譲るも獲ず。遂に毫を援きて直書す。庶くば同道の高仁、以て譏誚すること勿れ。乃ち録して介か云う。

已上の序文並びに祖堂集一卷、先に此の土に行われ、尔後一卷齊しく到れり。謹んで具本に依り、爰に新たに印版を開き、広く施して流伝せしめんと欲し、分かちて二十巻と爲す。此を以て先ず七仏を写し、次いで天竺の二十七祖並びに諸の震旦の六代に艘るに、代に傍正有り。祖位の次第、並びに以て録上す。其の血脉に随つて、初後聯綿とし、召穆の儀、孫有り嫡有るなり。其の纂の成るは、群英の散説、周く眼前に覽、諸聖の異言、卷内に瞻るを獲る所以なり。今、沙門釈匡僂しんくわうの冀す所の中華集なる者を以て、永く惜法の痕を祛く。此界の微曹願わくは弘禪の美を毀ばんことを。深く洞徹に慚づ、乞う慳疣を恕せ。一一名を上ぐれば次第して後の如し。

- 第一毗婆尸仏 第二尸棄仏 第三毗舍浮仏 第四拘留孫仏 第五拘那含仏 第六迦葉仏 第七釈迦仏 第一大迦葉祖釈尊伝えし金剛の製匠見して此の衣を持して弥勒の出世を待ちて此の衣を分付せしむ。伝衣を信と爲すなり。
- 第二阿難祖 第三商那和修 第四優婆鞠多 第五提多迦 第六弥遮迦 第七婆須密 第八仏施難提 第九伏に西天二 第十脇祖師 第十一富那夜奢 第十二馬鳴尊者 第十三迦毗羅祖師 第十四竜樹祖師 第十五提婆祖師 第十六羅喉羅羅刹王
- 第十七僧伽難提 第十八伽耶舍多 第十九鳩摩羅 第二十闍夜多 第二十一婆修盤頭 第二十二摩拏羅

第二十三鶴勒祖師 第二十四師子比丘 第二十五婆舍斯多 第二十六不如密多 第二十七般若多羅 第二十八初祖達摩 第二十九  
 祖惠可 第三十祖僧璨 第三十一祖道信 第三十二祖弘忍 第三十三祖慧能已上天竺竺摩子に傳はりて禪の事に勤むる 初祖傍出四聖持 第二卷畢る。 四祖下傍出  
 慧融第一 智巖第二 慧方第三 法持第四 智威第五 慧忠第六 前の智威下の出 馬素和尚 馬素下の出 道欽和尚 道欽下  
 の出 鳥窠和尚已上九人は開も空なり 五祖下傍出 神秀和尚 安国師 道明和尚 前の神秀よりの出 普寂和尚 普寂下の出 懶攢和尚 老安  
 下の出 騰騰和尚 坦然和尚 破竈墮已上八人は開も北宗なり 六祖下の出 思和尚 荷沢和尚 忠国師 崛多三蔵 智策和尚 本浄和尚 一宿覺  
 和尚 讓和尚已上八人は第  
四十一代なり 第三卷已り畢る。 思和尚下の出 石頭和尚 忠国師下の出 就源和尚已上三人は  
四十二代なり 石頭下の出 天皇和尚  
 戸利和尚 丹霞和尚 招提和尚 葉山和尚 第四卷已り畢る。 大顛和尚 長髭和尚已上七人は  
十三代なり 天皇下の出 竜潭和尚 丹霞下の出  
 翠微和尚 葉山下の出 雲巖和尚 華亭和尚 裨樹和尚 道悟和尚 大顛下の出 三平和尚 長髭下の出 石室和尚已上八人は  
十四代なり 竜  
 潭下の出 徳山和尚 第五卷已り畢る。 翠微下の出 投子和尚 円禪師下の出 宗密禪師 雲巖下の出 神山和尚 洞山和尚  
 道悟下の出 漸源和尚 石霜和尚 第六卷已り畢る。 花亭下の出 夾山和尚已上八人は  
十五代なり 徳山下の出 巖頭和尚 雪峯和尚 第七卷  
 已り畢る。 洞山下の出 雲居和尚 欽山和尚 中山和尚 曹山和尚 華嚴和尚 本仁和尚 青林和尚 疎山和尚 竜牙和尚 幽  
 棲和尚 夾山下の出 上藍和尚 第八卷已り畢る。 落浦和尚 盤竜和尚 逍遙和尚 洞安和尚 黄山和尚 韶山和尚 石霜下の  
 出 棲賢和尚 大光和尚 肥田和尚 涌泉和尚 南際和尚 雲蓋和尚 九峯和尚 南嶽泰 宝蓋和尚已上三人は  
四十三代なり 巖頭下の出 玄泉和  
 尚 烏岳和尚 靈岳和尚 羅山和尚 第九卷已り畢る。 雪峯下の出 玄沙和尚 長生和尚 鵝湖和尚 大普和尚 鏡清和尚 翠  
 岳和尚 報恩和尚 化度和尚 鼓山和尚 隆寿和尚 安国和尚 長慶和尚 第十卷已り畢る。 保福和尚 雲門和尚 齊雲和尚  
 永福和尚 福清和尚 潮山和尚 惟勁和尚 越山和尚 睡竜和尚 雲居下の出 仏日和尚 水西和尚 曹山下の出 仲曹山和尚  
 金峯和尚 鹿門和尚 第十一卷已り畢る。 荷玉和尚 育王和尚 華嚴下の出 紫陵和尚 長興和尚 竜牙下の出 報慈和尚 疎  
 山下の出 後疎山和尚 九峯下の出 禾山和尚 宝峯和尚 光睦和尚 同安和尚 泂潭和尚 雲蓋下の出 後雲蓋 玄泉下の出  
 黄竜和尚 羅山下の出 竜光和尚 竜廻和尚 清平和尚 玄沙下の出 中塔和尚已上四十六代  
は四十六代 長慶下の出 仙宗和尚 第十二卷已り畢

る。後招慶 報慈和尚 保福下の出 竜潭和尚 福先招慶 山谷和尚四十五人 第十三卷已り畢る。已上九十六人は石頭下の法孫。次に江西下を弁ず。

六祖能大師下の出 讓和尚四十一 讓和尚下の出 馬祖四十二 馬祖下の出 大珠和尚 百丈政 杉山和尚 茗溪和尚 石鞏和尚 紫玉和尚 南源和尚 百丈和尚 魯祖和尚 高城和尚 章敬和尚 第十四卷已り畢る。西堂和尚 鵝湖和尚 伏牛和尚 盤山和尚 麻浴和尚 塩官和尚 五洩和尚 大梅和尚 永泰和尚 東寺和尚 鄧隱峯 歸宗和尚 汾州和尚 大同和尚 金牛和尚 龜洋和尚 陳禪師 黒澗和尚 魔巖和尚 龐居士四十三人 第十五卷已り畢る。南泉和尚 百丈下の出 滄山和尚 黄蘗和尚 西林和尚 古靈和尚 性空和尚 第十六卷已り畢る。大慈和尚 西院和尚 西堂下の出 処微和尚 海東陳田 海東桐裏 海東実相 章敬下の出 海東慧日山 公畿和尚 塩官下の出 関南和尚 海東嶺山 盤山下の出 普化和尚 麻浴下の出 海東聖住 大梅下の出 天竜和尚 五洩下の出 正原和尚 歸宗下の出 芙蓉和尚 南泉下の出 岑和尚 白馬和尚 下堂和尚 海東雙峯 第十七卷已り畢る。趙州和尚 紫湖和尚 陸巨大夫四十七人 滄山下の出 仰山和尚 第十八卷已り畢る。香巖和尚 鴻諍和尚 靈雲和尚 王敬初敬 黄蘗下の出 臨濟和尚 観和尚 陳和尚 西院下の出 大隋和尚 靈樹和尚 峽山和尚 関南下の出 道吾和尚 天竜下の出 俱胝和尚 紫湖下の出 勝光和尚四十五人 仰山下の出 資福和尚 第十九卷已り畢る。海東順之 王常侍下の出 米和尚 臨濟下の出 宝寿和尚 灌溪和尚四十六人 灌溪下の出 後魯祖 隠山和尚 興平和尚 米領和尚四十七 第二十卷已り畢る。海東新開印版祖堂集、其の本迹を現わす者二百五十三員、並びに二十卷内に載す。迹を知ること莫き者は具さに録すること能わぶりき。

